

電車窓から望む家 完成

2月の上棟後、工事は急ピッチで進み完成を迎えました。



今回は手刻みとは違い、工場で先に加工し、現場では組み立てのみを行うプレカットのため、通常の住宅よりも大きい規模にも関わらず現場に材料が入るとあっという間に骨組みが出来上がりました。

特に2間(3.6m)のスパンの吹き抜けが特徴的な空間で、梁や野地板は表しになっています。こうしてみると力の流れやこの建物の形が目に見えてわかるのも面白いポイントです。その他にも普段とは異なり金物工法や大断面の集成材にすることでよりこの大きな空間や吹き抜けを作り上げています。

昔では不可能と思われていたものをつくることのできるようになった現代の技術、この現場を通して最新の技術も取り入れながら要望にあった空間を作ることが大切だと感じました。

電車の窓からは黒船のような外観が特徴です



OFFICE803 完成

越ヶ谷の旧街道沿いに「OFFICE803」が6月1日にオープンしました。



副業・起業等を支援するビジネスインフォメーションセンターの機能も備えたシェアオフィス・ワーキングオフィスということで個室12ブースと共有部フリーアドレススペースを兼ね備えています。

工事にあたって、若い方や女性の創業や共同事業を支援し、地域の活性化につながる場所にしたいと伺っていました。そのため、天井は梁をあらわしにしたり、仕切りには光を通すポリカを使ったり、音や光などが漏れ出しなんとなく存在が感じられるようにしました。

また、共有部で交流ができるように、コンセント付きの制作テーブルを設置。入口の大きな黒板は情報発信のために欲しいとのご要望で、黒板塗料を塗ることで作成。個室にもそれぞれコルクボードを設置し、入所者の情報も掲示できるようになっています。

完成したオフィスではなにやら面白いことがおこりそうな様子です。

異業種の交流で新しいビジネスがうまれるかも!?



木製ガレージ増設

埼玉県産材をふんだんに使用した立派な木製のガレージです。



自転車の出し入れに不便である塀と門を撤去して駐車場に屋根をかける工事です。木造で長い距離の間に柱を立てずに支えるため、小さい耐力壁をうまく配置し、大工さんが丁寧に削った太めの梁を使用しました。屋根は道路側をガルバの板金、家側をポリカにすることで日の光で十分な明るさを取れるガレージになりました。埼玉県産材をふんだんに使用した立派な木製のガレージに仕上げで含浸性のある自然塗料を塗装し、重厚感のあるものになりました。

光が漏れて車庫の中でも明るいです



カバー工法による窓リフォーム

以前建物の調査を依頼されたお客様より、窓のリフォーム工事を承りました。



軒が小さく中庭に面する大きなサッシをカバー工法によって新しくし、日差しを遮るとともに冬の寒さ対策のために障子を新しく入れました。カバー工法は既存の枠の上から新しい枠をかぶせる方法で古くて建てつけが悪い・性能が劣るなどのサッシの工事によく

使われる工法です。大規模な壁の工事や時間のかかる工事が無い分、省コストで工事が可能です。ガラスの性能の向上のみではなく障子もあわせて新設したことでさらなる断熱・遮熱の効果が期待できます。

トラス小屋組の寺

台東区にあるお寺の改修工事が始まりました。

設計: 合同会社 あまね設計



7月前半のお施餓鬼供養を挟んで工事を二回に分けて行います。一期工事は本堂小屋裏の耐震補強と事務所棟の便所廻りの改修、二期工事は天井から下部分の基礎・耐力壁、外壁の工事です。本堂の畳を上げ、天井を解体するとトラス型的小屋組が現れました。一般的に寺院の小屋組は和小屋とって水平の梁と束を立てて屋根を支える形のものが多いですが、これに対して今回のお寺のようなトラス型的小屋組は、洋小屋とも言って三角形の形状を組み立てて作る洋風の技術のため、少し珍しいです。寺院などの建物は大空間を必要とするため、こういったトラス小屋組が適しています。

当時の大工さんも、和・洋の技術を織り交ぜながら作っていったことが読み取れ、面白みが増します。



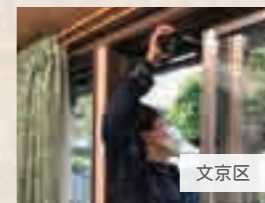
丸屋

行政も動き出し、少しずつ形が見えてきました!

鎌ヶ谷宿に残る最後の旅籠建築として、建物をどのように活かしていくのか、そんな話し合いを続けながら、再生の方向性を探っています。行政も動き出し、少しずつ形が見えてきました!



目白台の家



明治から続く文化住宅の実測調査を行いました。構造材の線の細さや床の間などの造作のこだわり具合から、文化住宅の特徴が多くみられました。2階建ての建物を平屋にするという条件を満たすために構造部材の組み方を念入りに確認しましたが、これまでの増築が多く、当初の材料を把握するまでに時間が掛かりそうです。この後も、調査を踏まえて基本設計に入ります。

越谷暮らし Lab



越谷中心市街地で進んでいるまちづくりプロジェクトです。2年半前にオープンした cafe803 と今年の6月にオープンした、シェア office803 に続く第3弾の拠点施設です。越谷らしい暮らしを研究し発信していくことを目的に、新しい衣食住文化を作り出していきます。

現在まちづくり仲間の設計事務所との協働作業が進んでおります。

